



vol.
196

と www.tenpla.net
プラネタリウム

新型コロナウイルス感染症の収まる気配がなかなか見えないこの頃、人が集まって接触してしまう機会を減らすために、たくさんの講演会が延期や中止を余儀なくされています。筆者(平松)が企画していたアルマ望遠鏡講演会も同様です。しかし単に無くなってしまふのはもったいない、ということで、七夕に絡めてオンライン企画を立てました。題して「#アルマの七夕」。

まずはアルマ望遠鏡オリジナル短冊をtwitterで配布し、7月7日までの1週間、願い事を募集しました。時節柄、新型コロナウイルスや大雨の収束を願うものが多く寄せられたほか、小学生から「銀河を外から見たい」「宇宙の果てをみたい」という願い事などたくさん寄せられました。7月7日にはYouTubeでのトークライブを実施し、集まった願い事を皆さんとシェアしたほか、七夕の星たちを紹介しました。特に、織姫星であること座の

ベガは塵の円盤を持っていること、そんな円盤をアルマ望遠鏡で研究して惑星の誕生を調べていることをご紹介しました。

その次は、アルマ望遠鏡の写った星景写真に、思い思いの星座を結んでもらいました。ねこ座、スピノサウルス座、どんぶり座、焼き魚座など、個性豊かなオリジナル星座が20件以上集まりました。7月21日のトークライブでは、この星座たちを紹介した後、その写野に含まれるアルマ望遠鏡観測天体をいくつかご紹介しました。星空の向こうに、惑星が生まれるところ、一生を終えつつある星、ブラックホールや132.8億光年先の銀河など、無限ともいえる宇宙が広がっていることを感じてもらうことを狙いにしました。

トークライブはそれぞれ100人くらいの視聴者があり、好評でした。普段の講演会の参加者数には及びませんが、願い事やオリジナル星座を投稿した後に

今月のお題
.....

オンライン講演はなぜか

対面での講演会開催が難しい今、ネット越しの活動も広げています。オンラインだからこそその魅力も探りながら。

高梨直紘 (東京大学) / 平松正頭 (国立天文台)



7月21日19時から、別々のオンライン講演を実施した高梨(左上)と平松(右下)。

見るオンライントークには、普段の講演よりも強い関心やつながりを持っていただけだと思っています。オンラインならではの双方向のやり取りを通じて、より深くアルマ望遠鏡のファンになっていただく。そんな企画を今後も考えていきたいと思っています。

.....
※アルマのトークライブは録画をご覧くださいいただけます。YouTubeで「アルマの七夕」と検索!

Q アルマの七夕